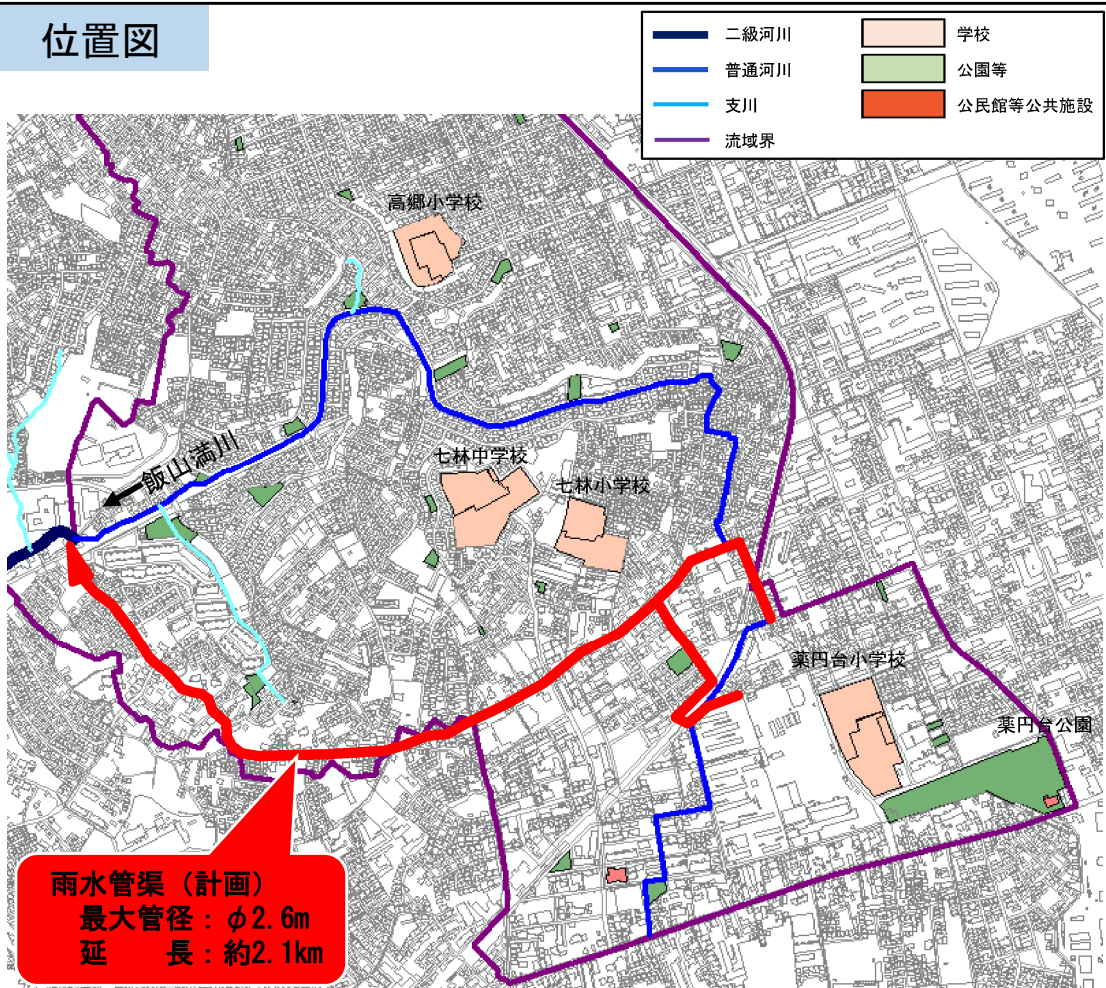


# 飯山満川流域における浸水対策概要

- 平成25年10月台風26号で時間最大降雨量58.5mm、総雨量285mmの豪雨を記録し、飯山満川沿いおよび新京成習志野駅周辺では床上・床下浸水被害が多数発生したことから、浸水対策が急務となっています。
- 千葉県が管理する下流側（二級河川飯山満川を含む海老川流域）の河川改修完了の目途が立たず、飯山満川の整備が難しいことから、公共下水道（雨水整備）による早期に浸水被害を軽減させる手法を検討しました。

⇒ **雨水管渠を整備し、当面は大雨時に雨水を貯める運用とすることで、飯山満川の水位上昇を抑制し浸水被害の軽減を目指します。**  
 なお、下流側の河川改修が完了すれば、大雨時にも雨水を流下させることで浸水被害のさらなる軽減が図られます。

## 位置図



雨水管渠（計画）  
 最大管径：φ2.6m  
 延長：約2.1km

今後の実施設計によって管渠のルート等が変更となる可能性があります。

## 浸水状況（平成25年10月台風26号）

床上浸水：32戸  
 床下浸水：19戸



## 対策施設の段階的運用のイメージ

